

【給食協会賞】六年間給食を食べて思ったこと

桜井小学校 牧野 光希

ぼくは、六年間給食を食べてすごいと思ったことが六つあります。

一つ目は、ぼくの通っている桜井小学校では、図書館司書さんとのコラボメニューという、おもしろいメニューがあります。本の中に出て来る料理を実際に給食で食べるというものです。今までに、「ひみつのカレーライス」や「たけのこごはん」などの作品とコラボしました。ぼくは、そのコラボメニューの本がどんな物語なのかなあといい、楽しく給食を食べることが出来ます。

二つ目は、桜井小学校では、季節の行事に合わせて給食が出るがあります。七夕には七夕ゼリィや、クリスマスにはクリスマスケーキが出ます。季節の行事の給食が出るので、季節を感じる事が出来ます。

三つ目は、地産地消の給食が出るがあります。いちじくタルトや、青じそ入りあじフライなどの給食が出ます。ぼくは、いちじくタルトが大好きで、地産地消にもなっているから、一石二鳥だと思いました。

四つ目は、給食には五つの栄養が全て入っていることです。実は給食には、たんぱく質、無機質、ビタミン、炭水化物、脂質の五つの栄養がほぼ毎日全て入っています。毎日バランス良く食べれるので、給食を作ってくれている人に感謝の気持ちでいっ

ぱいです。

五つ目は、学校にはたくさんのお友達がいて、その児童全員に給食を作っていることです。給食には、一人分作るだけでも時間がかかりそうな料理もあるのに、それを児童全員分作っています。給食を作っている人は、すごく苦労しているんだろうなあといい、これからも給食を残さずに食べようと思えました。

六つ目は、給食にはたくさんのお友達がいて、あることです。給食は、バリエーションが多いから、毎日給食をあきずに食べることが出来ます。ぼくは、いつも明日はどんな給食なんだろうと思いい、わくわくした気持ちになります。

ぼくは、給食を作っている人がおいしい給食を作ってくれているおかげで、毎日楽しく給食を食べることが出来ます。なので、ぼくは、給食を作っている人に感謝しています。いつも、ぼく達のことを考えておいしい給食を作ってくれてありがとうございます。